

学力向上グングン塾便り

令和3年12月
NO. 7
稚内市教育研究所

3年九九／4年あまりのあるわり算 タイムが大幅に縮みました!

グングン塾では、計算の基礎の定着を図るために3年生は「100マス九九」、4年生は「あまりのあるわり算30問」に継続して取り組んでいます。毎年、5月に計測したタイム結果と10月の結果を比較し、成果と課題について考えていますので報告いたします。2学期後半以降は現学年の復習や時間短縮のため実施できないこともあります。九九は計算の基礎基本ですから、今後も継続して取り組みます。覚えていない段があったり、順に唱えないと答えが出てこなかったりする場合には、また、覚えた九九を忘れないためにも、ご家庭でも繰り返し練習してほしいと思います。裏面には、同時期に実施したCRT検証結果を掲載しています。こちら、是非ご覧ください。

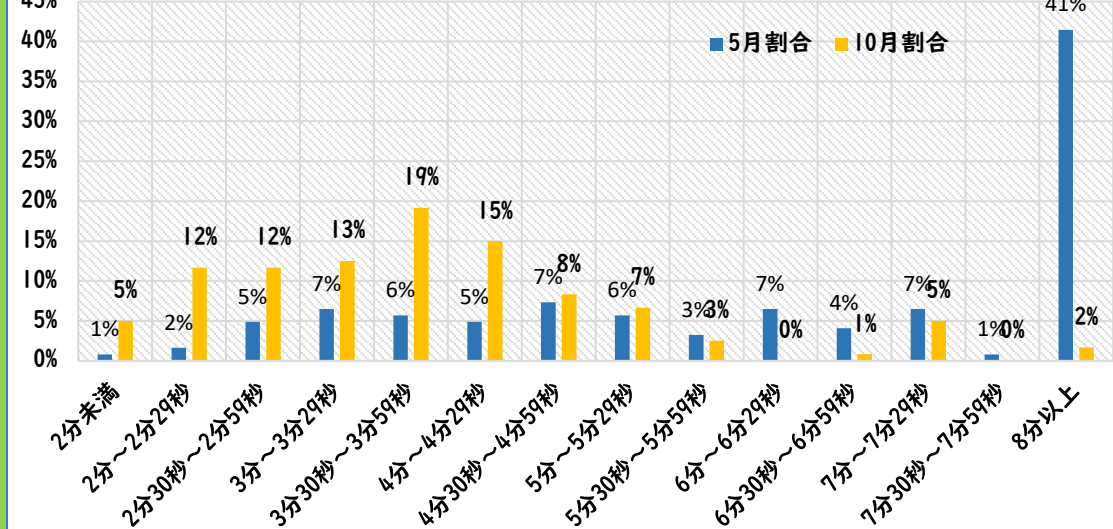
3年生「100マス九九」

- 全体の平均タイムが3分30秒以上縮まり、全体の平均タイムが4分を切りました。
- 5月は「8分以上」が41%でしたが、10月は2%と激減しています。また、目安としている「5分以内」が5月は33%でしたが、10月は84%になりました。「3分以内」も5月8%から、10月は29%に増えていて、確実に個々のスピードがアップしています。桁数の多いかけ算やわり算を解くためには、九九の習熟が必須であるため、今後も継続して取り組み、3分程度でできることを目標にしていきます。
- ◆全体的に時間短縮が図られましたが、正確さにかたり、覚えていない段があったりする児童もいます。今後も、九九を確実に習得できるようにするとともに、習得状況に応じた内容や学習形態、指導方法の工夫を行い、「わかるできる」を支援していきます。

3年「百マス九九計算」タイム別人数

	5月/4校		10月/4校	
	人	%	人	%
2分未満	1	1%	6	5%
2分～2分29秒	2	2%	14	12%
2分30秒～2分59秒	6	5%	14	12%
3分～3分29秒	8	7%	15	13%
3分30秒～3分59秒	7	6%	23	19%
4分～4分29秒	6	5%	18	15%
4分30秒～4分59秒	9	7%	10	8%
5分～5分29秒	7	6%	8	7%
5分30秒～5分59秒	4	3%	3	3%
6分～6分29秒	8	7%	0	0%
6分30秒～6分59秒	5	4%	1	1%
7分～7分29秒	8	7%	6	5%
7分30秒～7分59秒	1	1%	0	0%
8分以上	51	41%	2	2%
合計(人)	123		120	

3年「100マス九九」タイム別割合 比較



平均タイム

	4校
5月	07:35
10月	03:50
差(*)	03:45



2学期のグングン塾がまもなく終了します。

2学期前半までは前学年の復習を中心に、後半は現学年の学習の復習に取り組んできました。また、グングン塾の「学習の約束」を守り、今年度はプリントとタブレットドリルを使って、分からないことは調べたり聞いたりすること、間違いの直しにきちんと取り組むこと等にも重点をおいて支援してきたところです。

グングン塾に参加したみなさんは、個人目標にむかってよく努力しました。時には、「やりたくない」という気持ちと闘いながら、わからないことを聞いたり、一生懸命考えたり、沢山のプリントの中から苦しい学習や得意な学習など自ら課題を選択して取り組んだり、大変よく頑張りました。寒さに負けず、元気でよい冬休みを過ごして下さい。保護者の皆様、グングン塾へのご支援ご協力ありがとうございました。

【冬休みグングン塾参加者集約状況】12月14日現在

	中央小	南小	東小	潮見小	合計
3年生	25	13	15	14	67
4年生	10	7	12	9	38
5年生	7	11	7	15	40



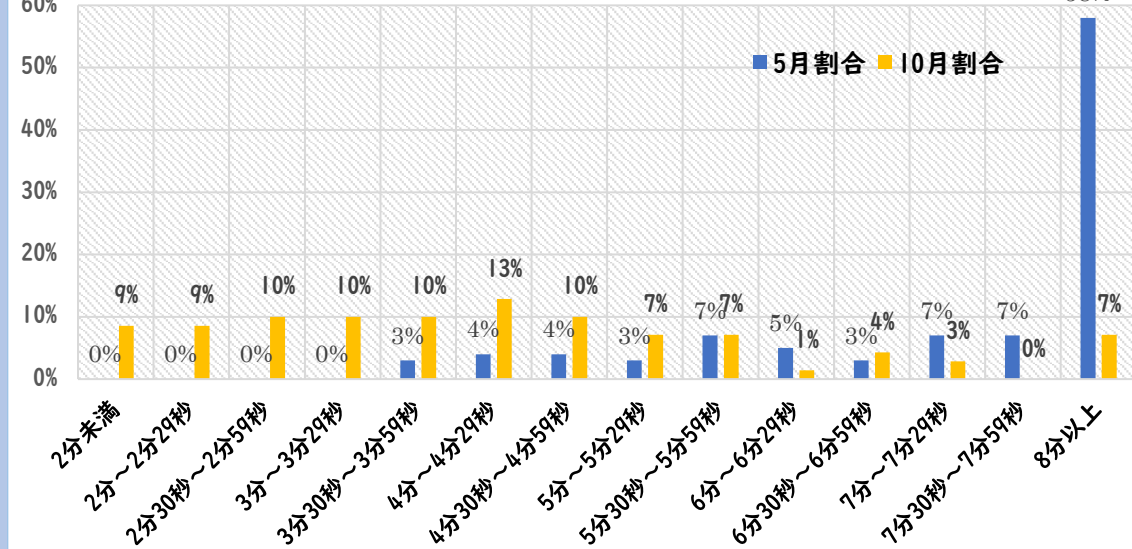
4年生「あまりのあるわり算30問」

- 全体の平均タイムが3分30秒以上縮まり、全体の平均タイムが4分30秒を切りました。
- 5月は「8分以上」が58%でしたが、10月は7%と大幅に減少しました。また、5月は3分30秒以内にできた児童がいなかったのですが、10月は38%、約4割の児童が3分30秒以内に計算できるようになりました。目安としている「5分以内」も71%の児童が達成できています。
- ◆全体的に時間短縮が図られた一方、「8分以上」の児童もおり、差が顕著になっています。計算時間がかかる児童には九九や繰り下がりひき算のつまづきが見られますので、今後も、習得状況に応じた内容や学習形態、指導方法の工夫を行い、「わかるできる」を支援していきます。

4年「あまりのあるわり算」タイム別人数

	5月/4校		10月/4校	
	人	%	人	%
2分未満	0	0%	6	9%
2分～2分29秒	0	0%	6	9%
2分30秒～2分59秒	0	0%	7	10%
3分～3分29秒	0	0%	7	10%
3分30秒～3分59秒	2	3%	7	10%
4分～4分29秒	3	4%	9	13%
4分30秒～4分59秒	3	4%	7	10%
5分～5分29秒	2	3%	5	7%
5分30秒～5分59秒	5	7%	5	7%
6分～6分29秒	4	5%	1	1%
6分30秒～6分59秒	2	3%	3	4%
7分～7分29秒	5	7%	2	3%
7分30秒～7分59秒	5	7%	0	0%
8分以上	43	58%	5	7%
合計(人)	74		70	

4年「あまりのあるわり算30問」タイム別割合 比較



平均タイム

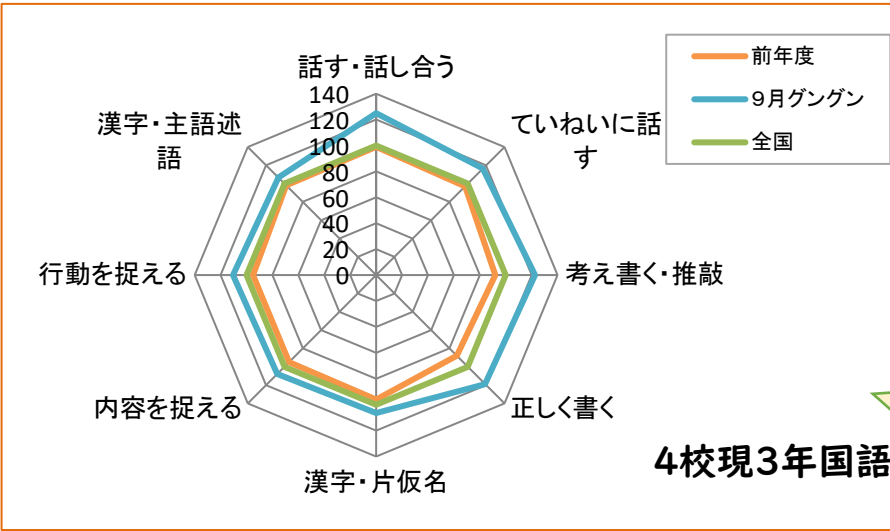
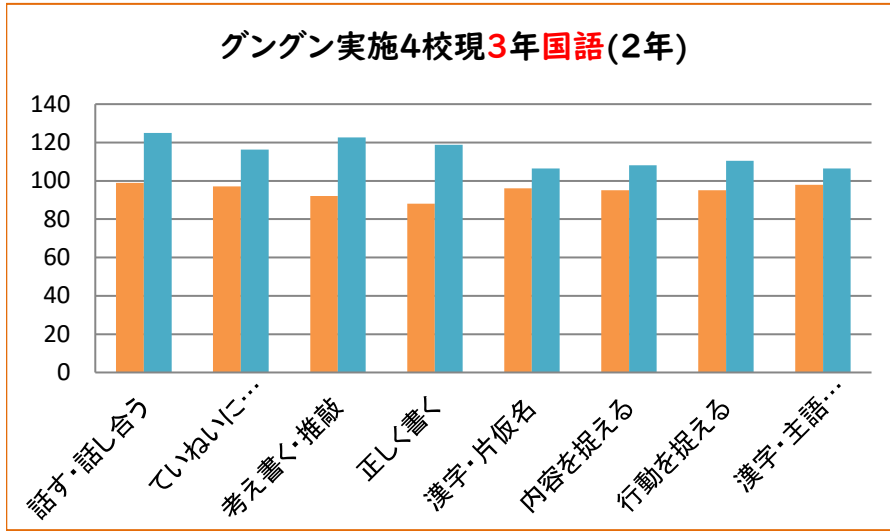
	4校
6月	08:08
10月	04:21
差(*)	03:47



グングン塾の検証結果！CRT



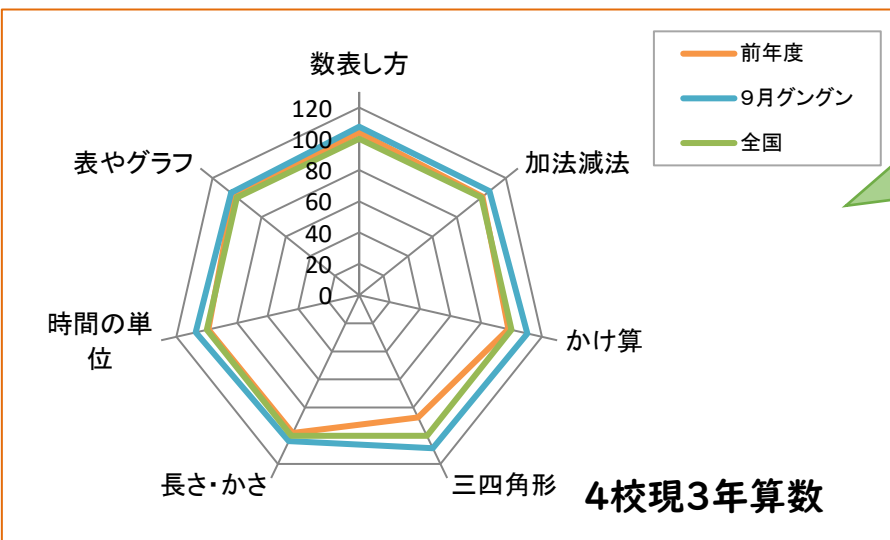
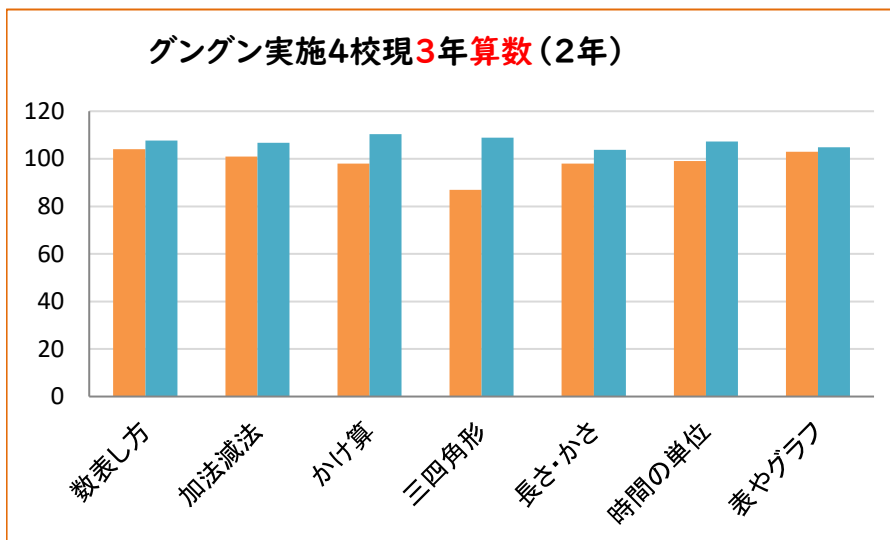
令和3年9月実施 CRT 3年国語実施結果(問題は前年度の2年国語 CRT)



グングン塾では子ども達に確実に力をつけようと、前年度の CRT 結果を分析し、5月から9月まで、課題が見られた単元に重点をおいて復習を行いました。9月末には前年度と同じ問題に取り組み、グングンに通っている子ども達の力のつき方を調査しました(全国平均を100とし、全国比で表しています)。結果は下記の通りですが、確実に力をつけていることが読み取れます。グングン塾も含めて子どもたち自身が勉強をがんばった成果といえます。

- 前年度は、すべての領域で全国平均を下回りましたが、今回は4校全体でもすべて全国比100を超え、全体的に力を伸ばしたことがわかります。
- 言葉や文法の学習やミニ読解に、プリント・タブレットドリルを使って継続的に取り組んだことが、「主語述語」「読むこと」の顕著な伸びにつながったと考えられます。特に苦手である「書くこと」の領域でも伸びが目立ちました。

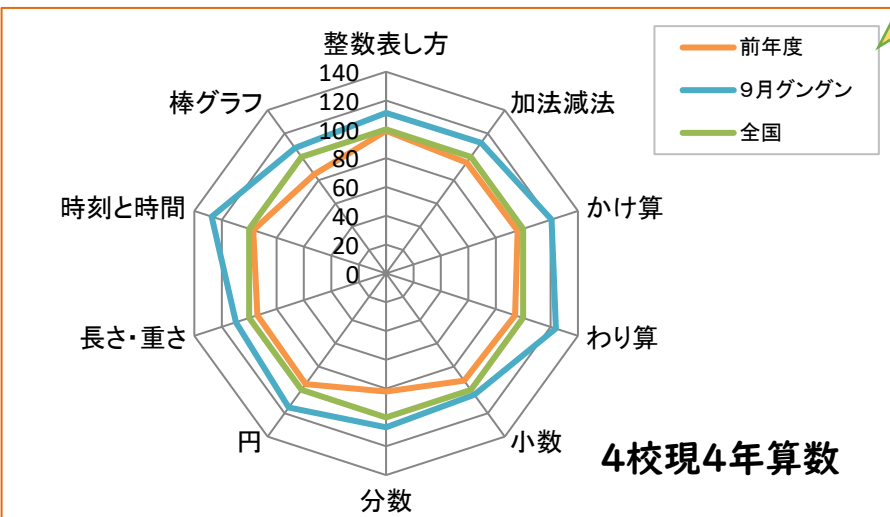
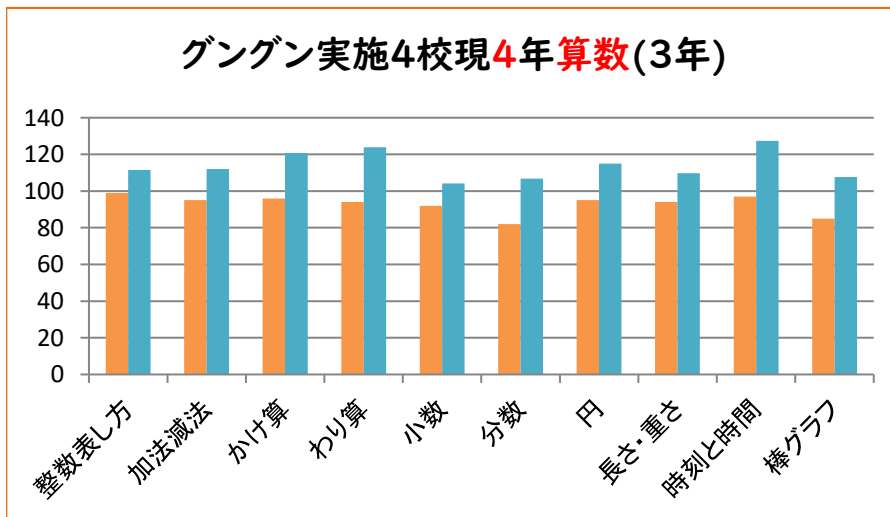
令和3年9月実施 CRT 3年算数実施結果(問題は前年度の2年算数 CRT)



- たし算、ひき算や九九といった、どの子にも習得させたい基本的技能である「数と計算」領域の伸びが顕著でした。100マス九九の継続した取組は有効であることがあらためて確信できました。
- かさや長さ等の「量と測定」や「図形」の領域の学習には苦手意識がありますが、プリントと今年度導入したタブレットドリルを併用することで学習内容の定着が図られました。

- 「かけ算・わり算」の領域で、顕著な伸びが見られました。「あまりのあるわり算」の継続的取組により、わり算の仕方の理解と技能の向上、かけ算の習熟を図ることができました。また、九九の確実な習得への支援、学習状況に応じた個別の支援が、計算技能の理解習熟につながり、全体的な数値の向上となったと考えられます。
- 全体的に四則計算など計算技能は改善しつつあります。大部分の問題で正答率が8割を超えた一方、文章問題になると何が問われているかがわからないなど、課題が見られます。
- 全領域で全国平均を上回る等、全体的には力を伸ばしてきていますが、考え方や応用・活用を問われる問題は引き続きの課題です。

令和3年9月実施 CRT 4年算数実施結果(問題は前年度の3年算数 CRT)



◎ 3年、4年共に、全領域で全国平均を上回る等、全体的には力を伸ばしてきています。放課後の学習という大変さがあったと思いますが、グングン塾参加の児童は皆、大変頑張りました。

◆ 課題としては、「問題文や問いの意味を理解する」段階で、つまづきがみられるので、日常のグングン塾でも、「文章を読み解く力」を高めていくことです。

◆ 算数では、結果を解釈・説明、結果を考察するなど、考え方や応用・活用を問われる問題には慣れていないので、子どもたちにどのように触れさせていくか考えなければなりません。